

アンケート集計

2025年度 企業向けワークショップ「OSPOLレベル1構築ワークショップ」

2026年2月

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

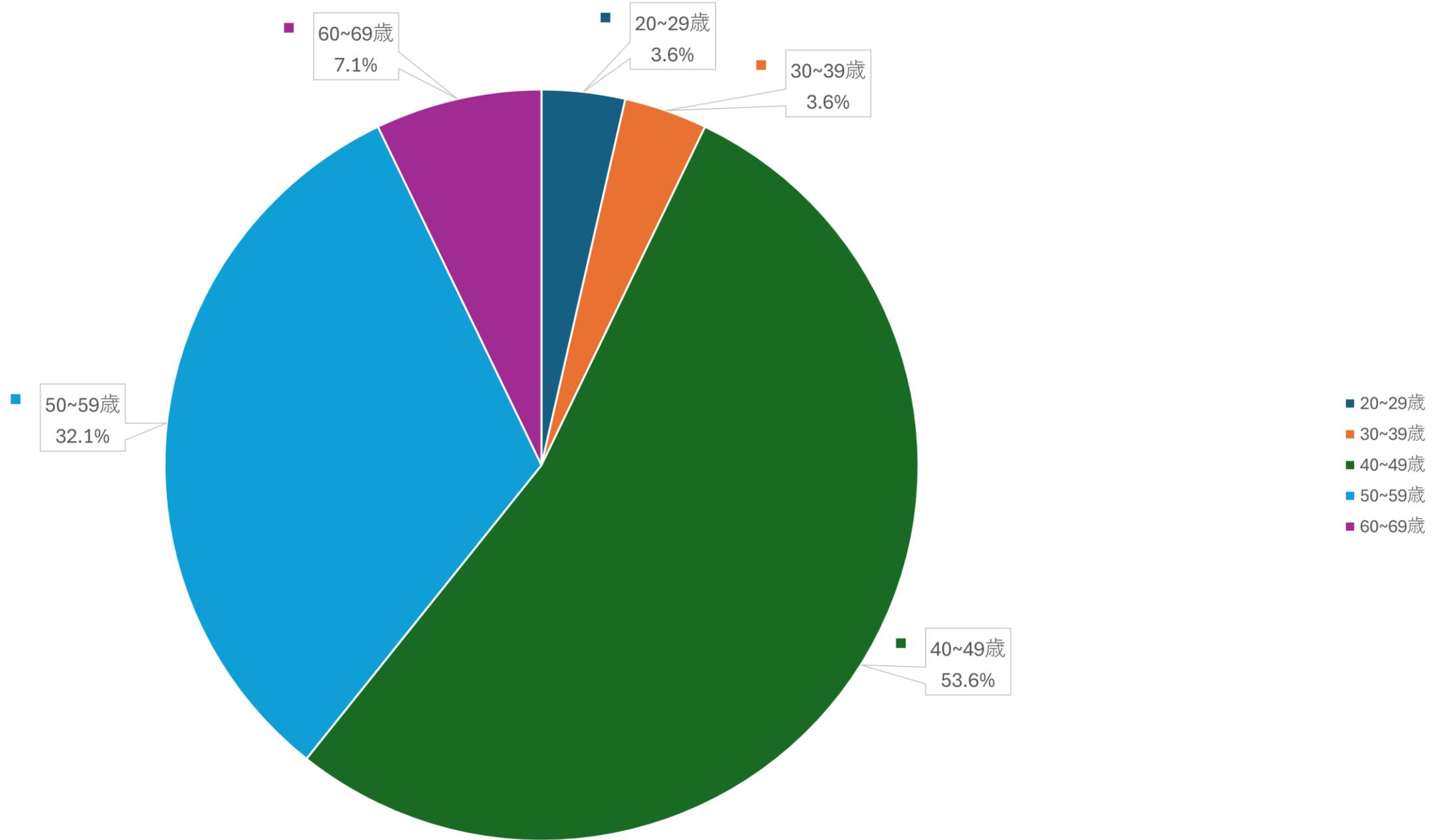
デジタル基盤センター

ソフトウェアエンジニアリンググループ

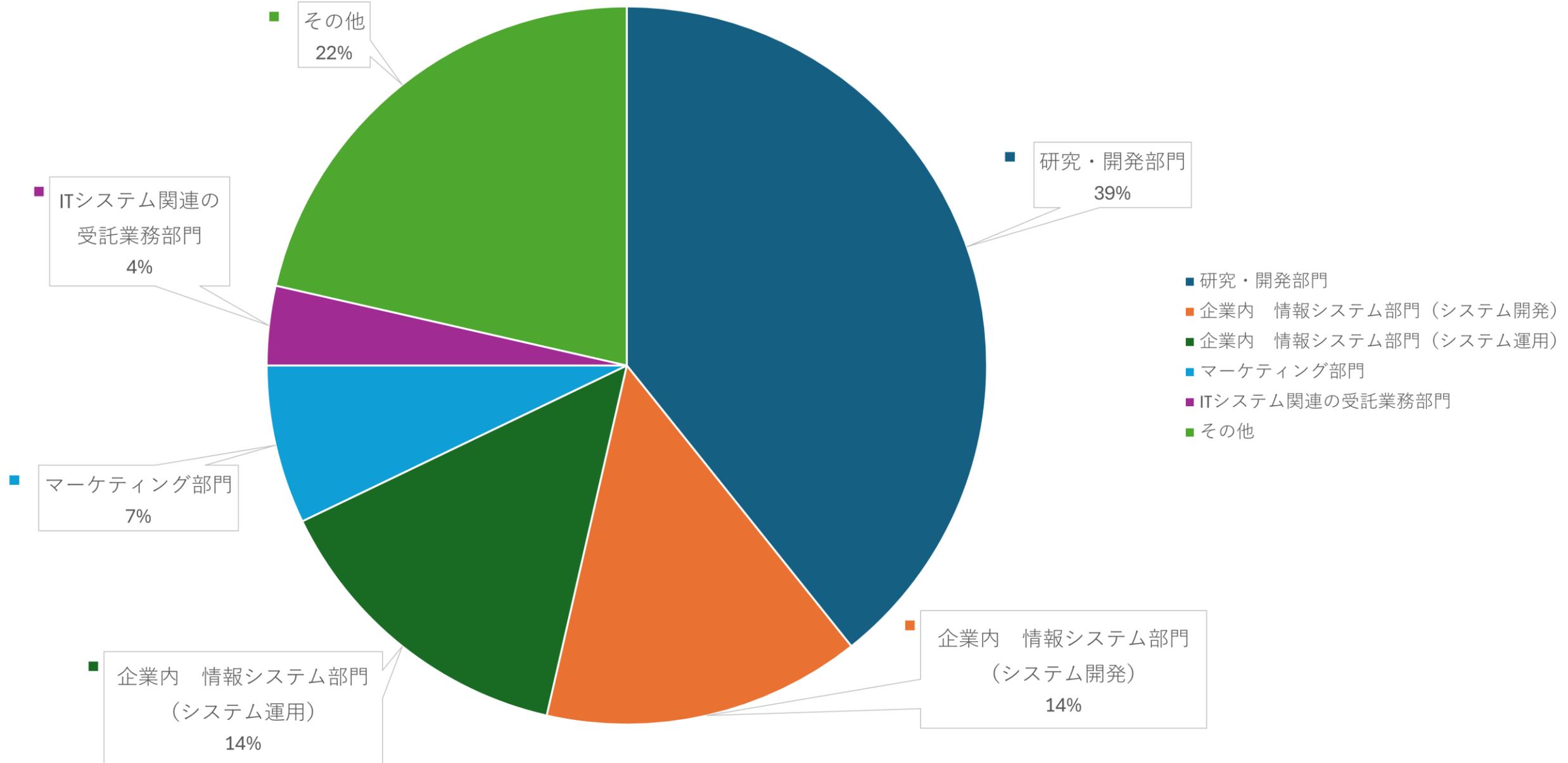
オープンソース推進チーム

イベント名	企業向けワークショップ「OSPOLレベル1構築ワークショップ」(全3回)
開催日時	2025年11月6日(木曜日)、12月2日(火曜日)、2026年1月22日(木曜日) 15時00分～17時30分
開催場所	独立行政法人情報処理推進機構(東京都文京区) マイクロソフト品川オフィス セミナールーム(東京都港区) ※第2回のみ
最終参加者数	40名
回答数	28件

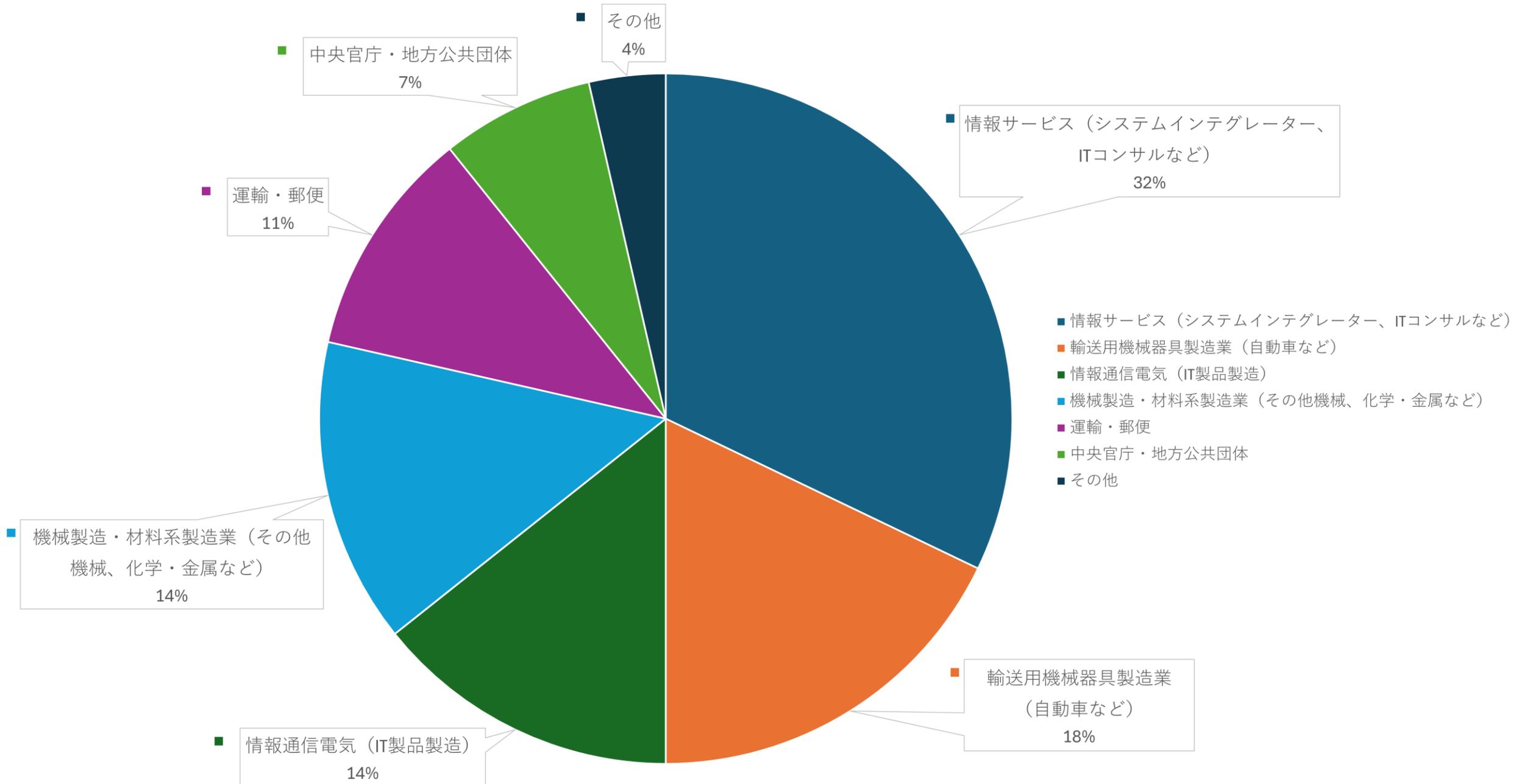
年齡



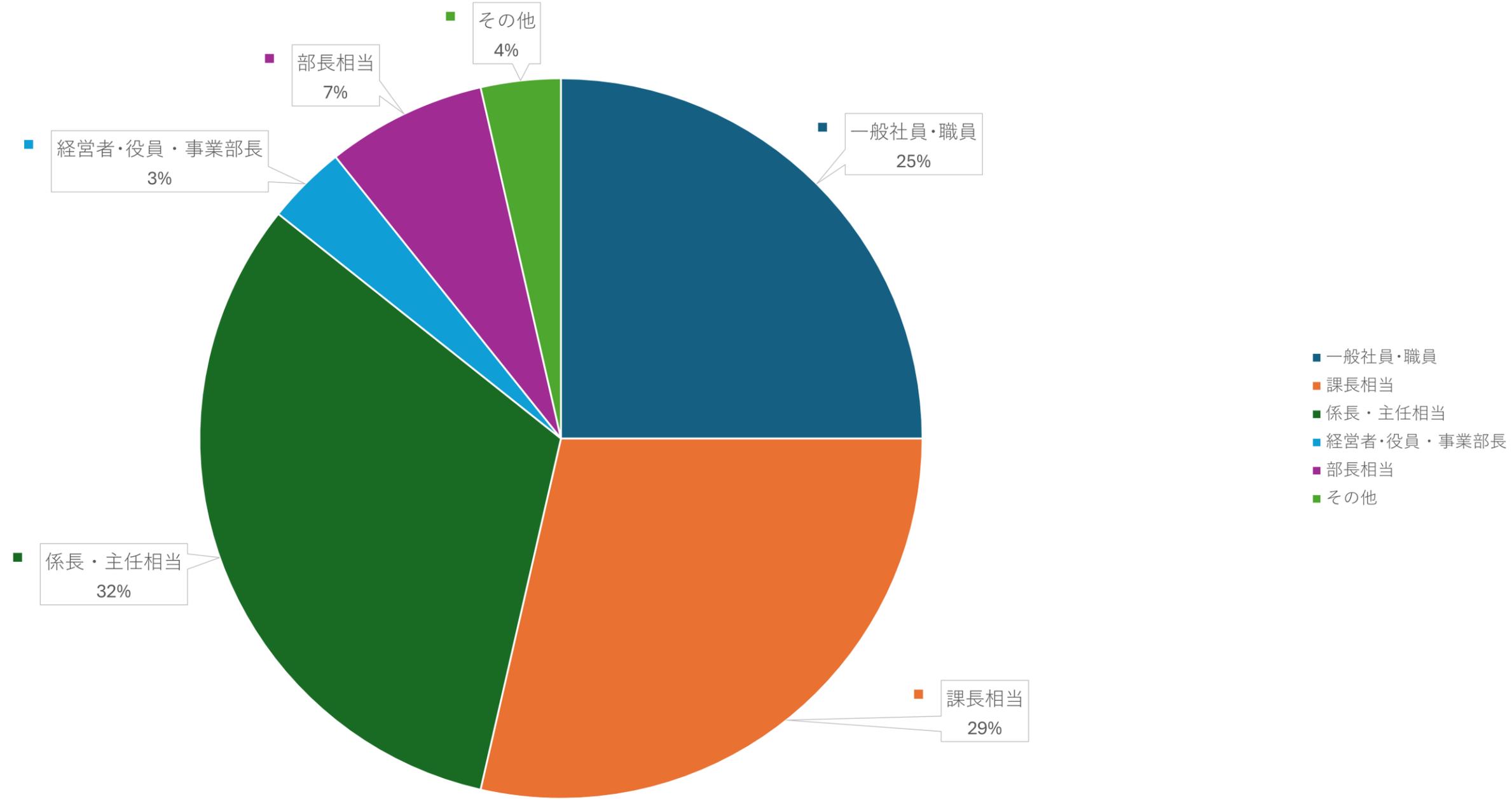
職種（主となるもの）



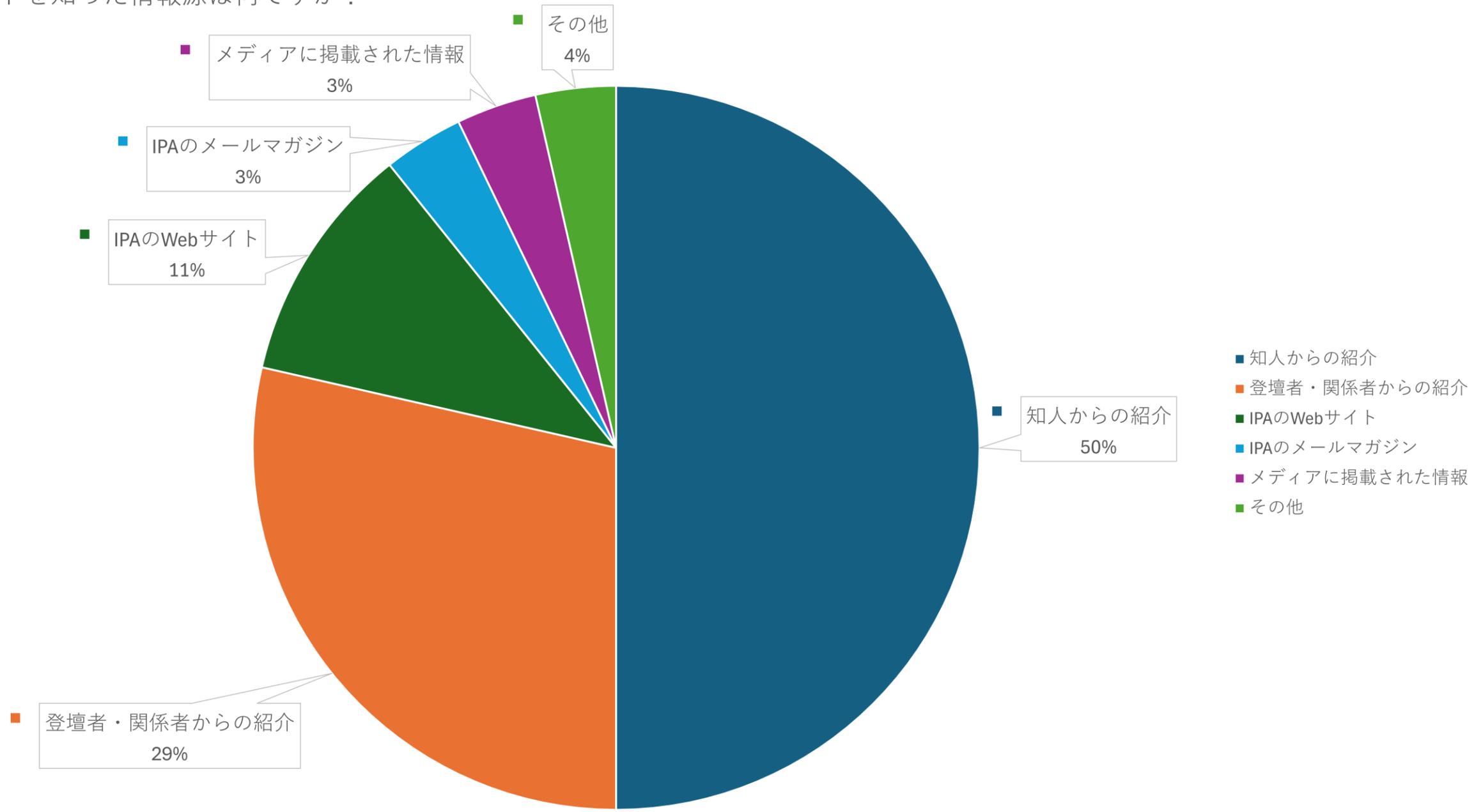
業種（主となるもの）



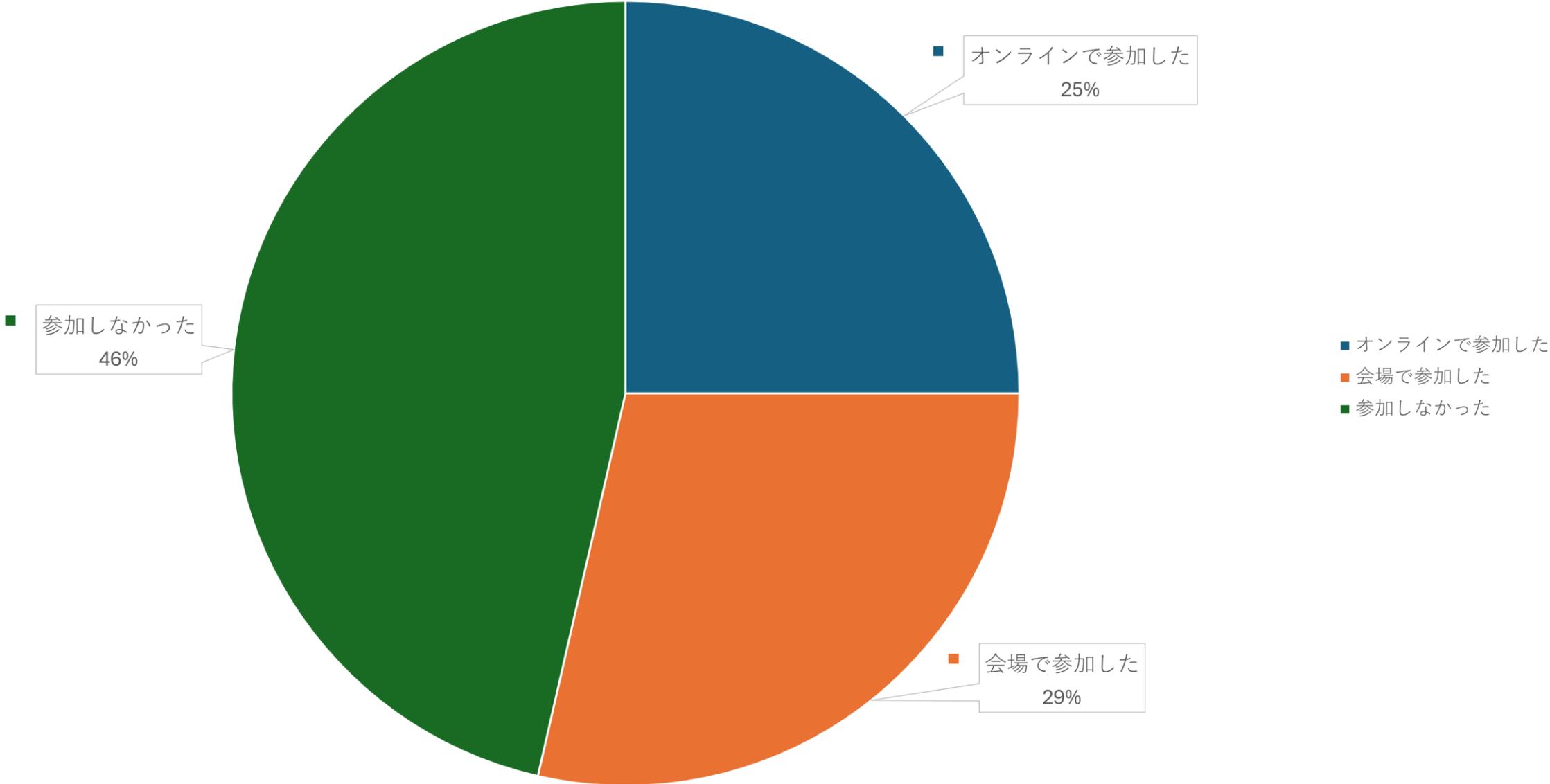
役職



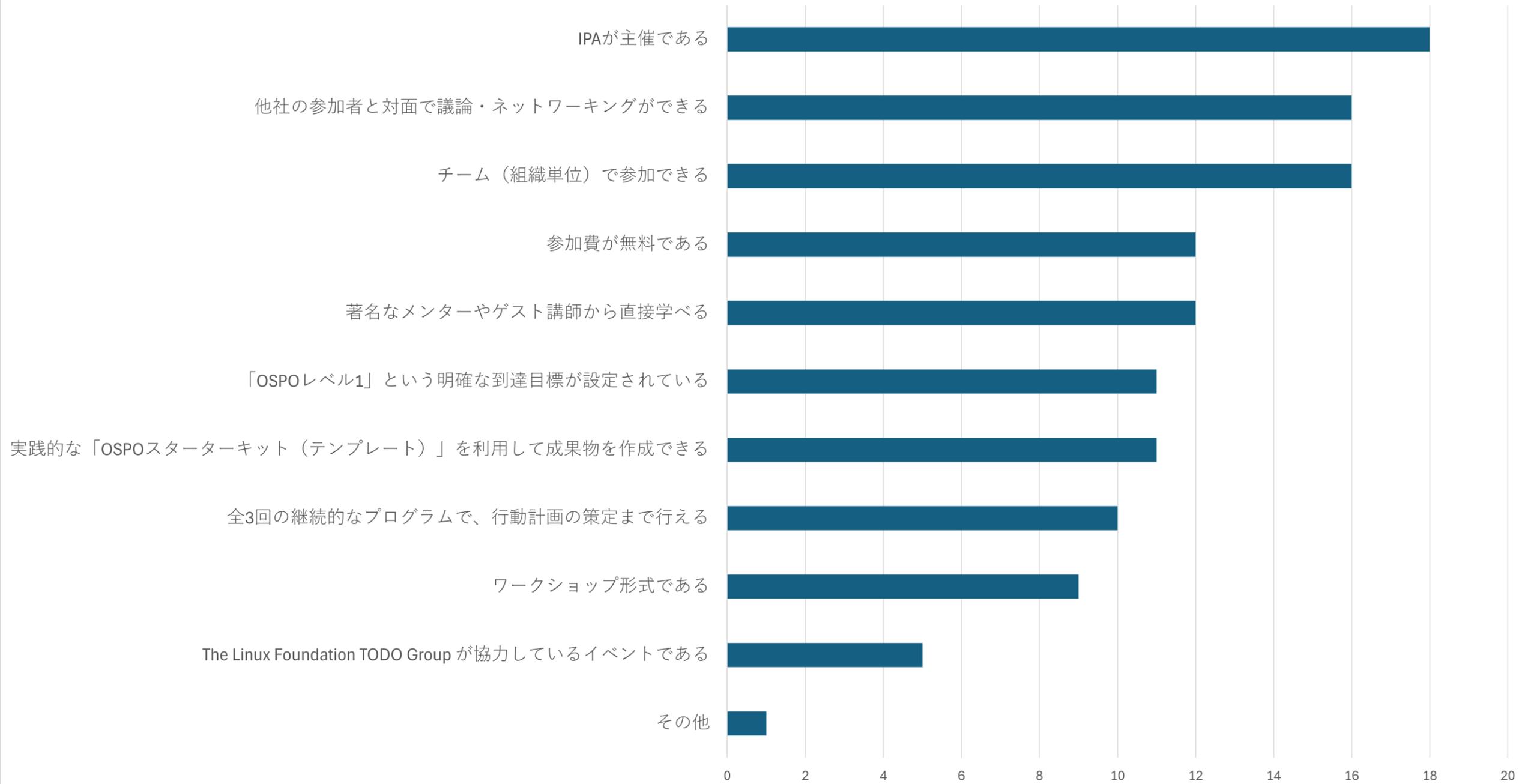
本イベントを知った情報源は何ですか？



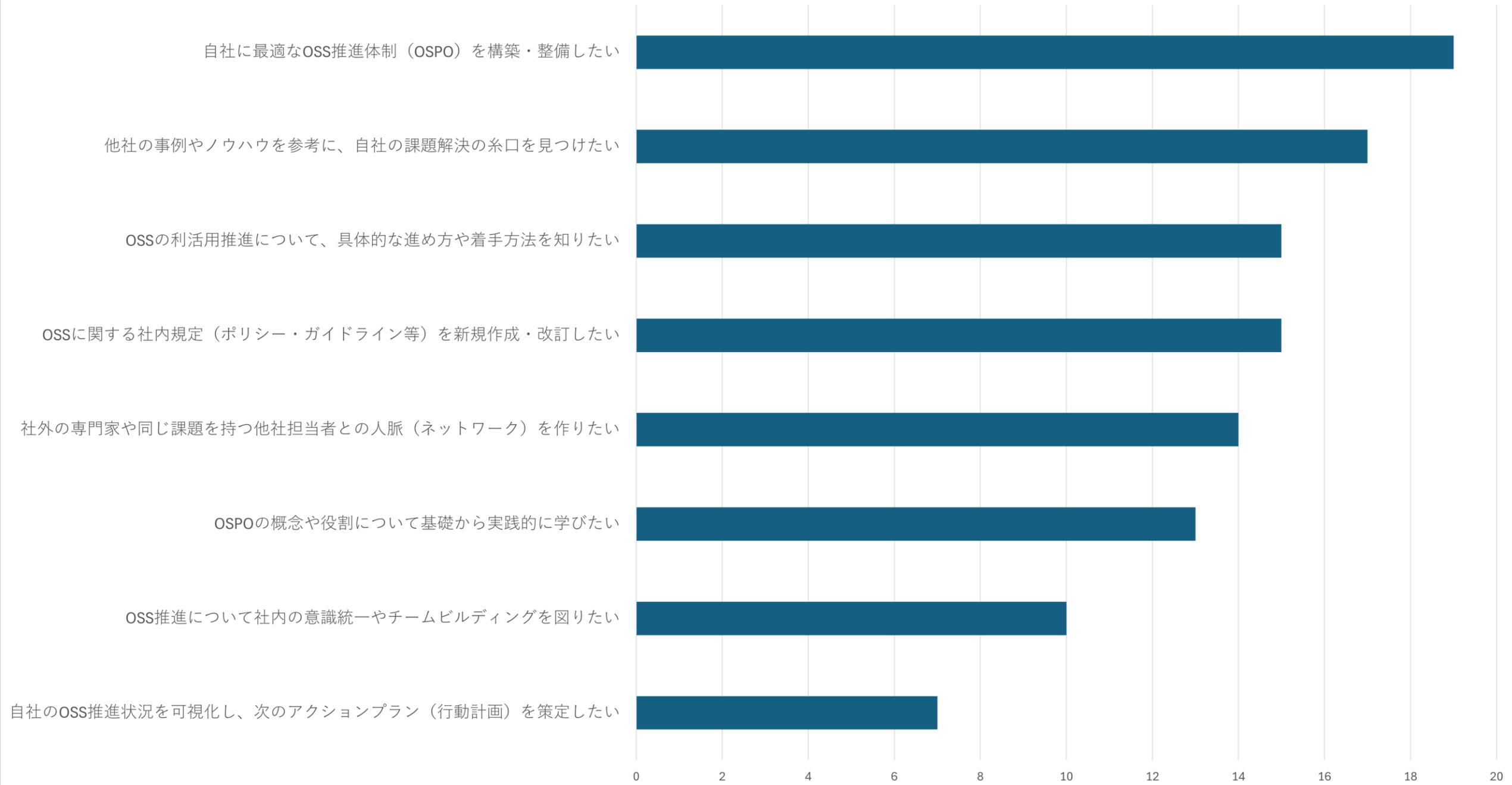
事前説明会には参加されましたか？



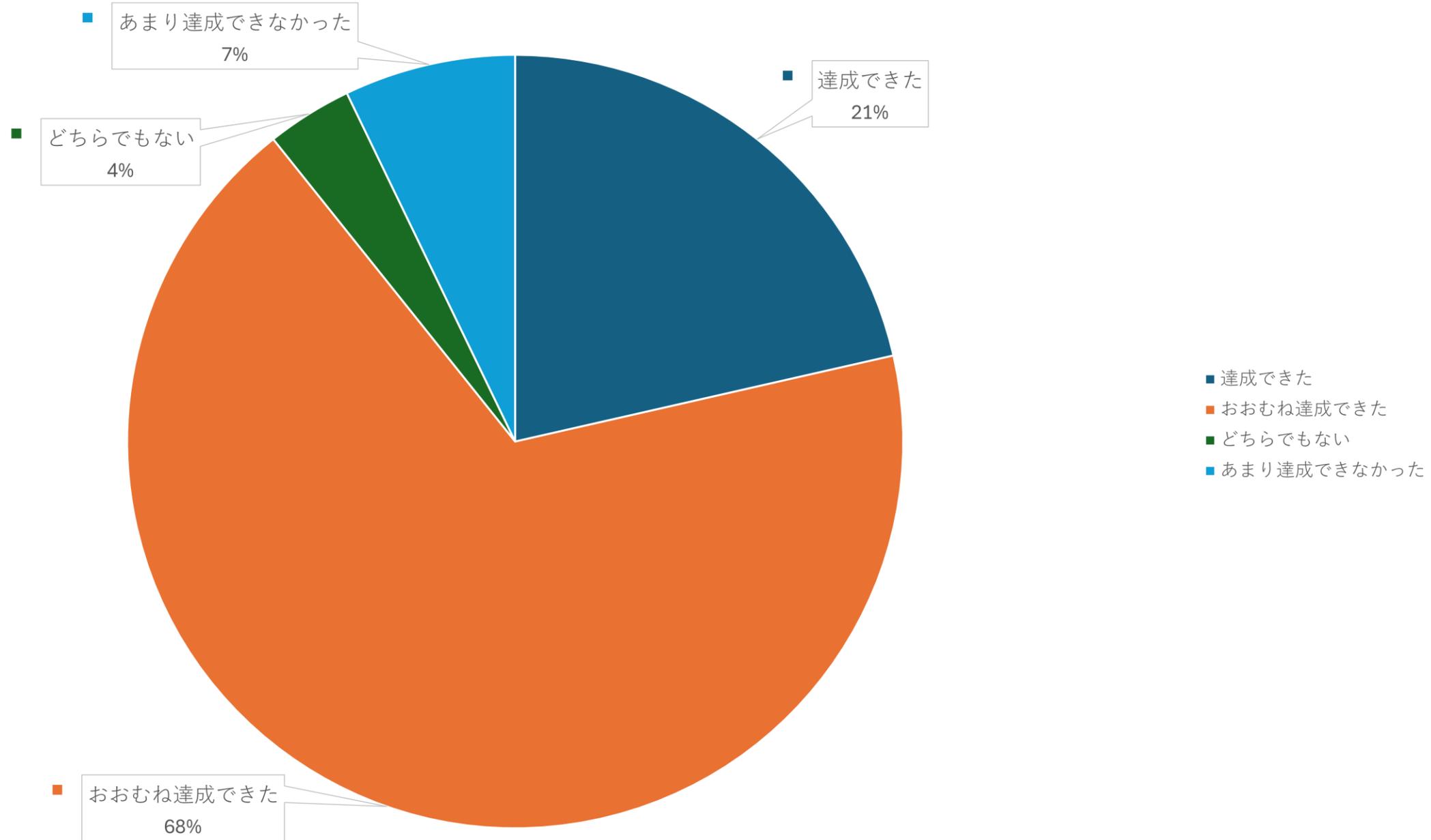
本イベントへ申し込む決め手となったポイントは何ですか？（複数選択）



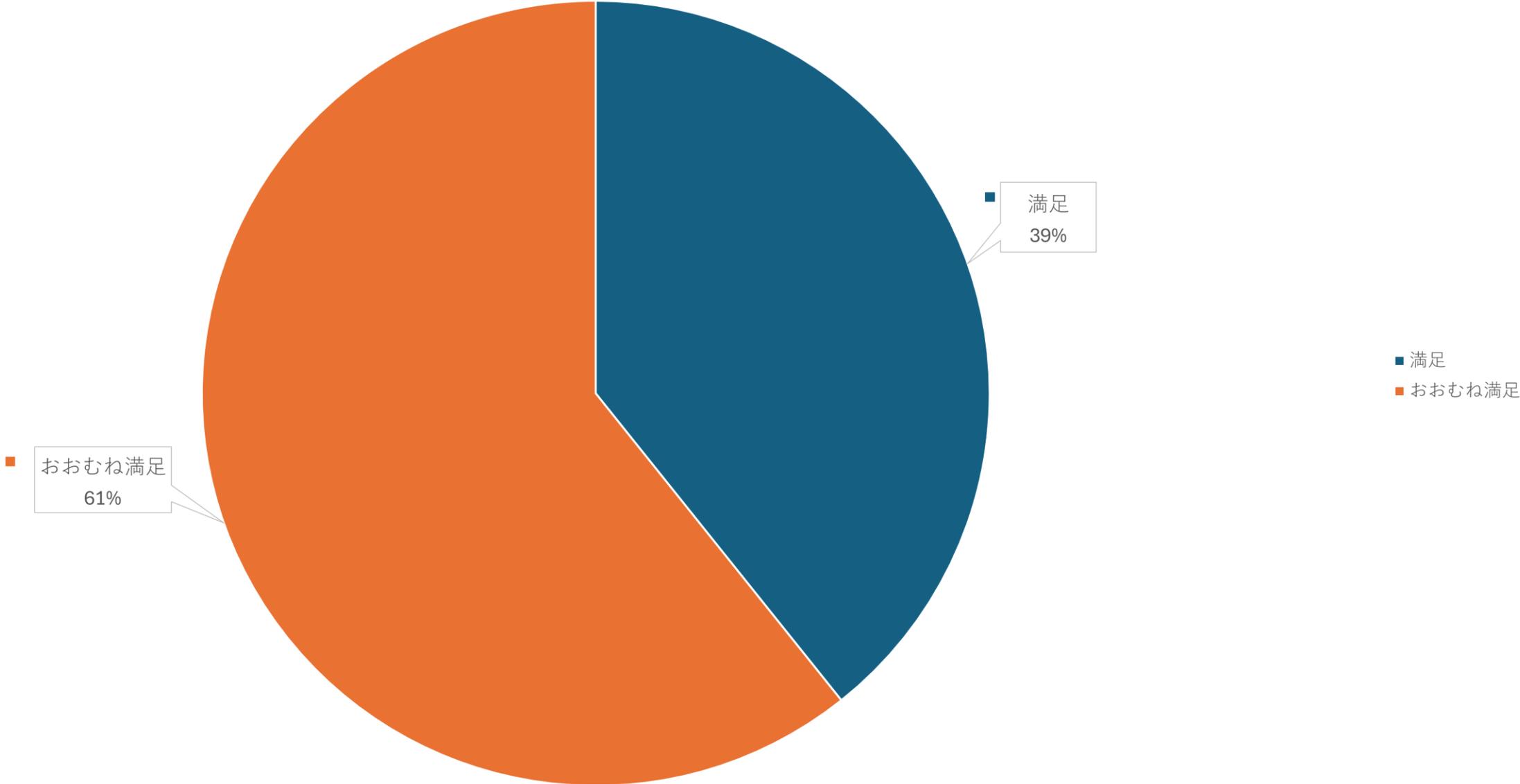
本イベントに参加した目的は何ですか？（複数選択）



本イベントに参加した目的は達成できましたか？

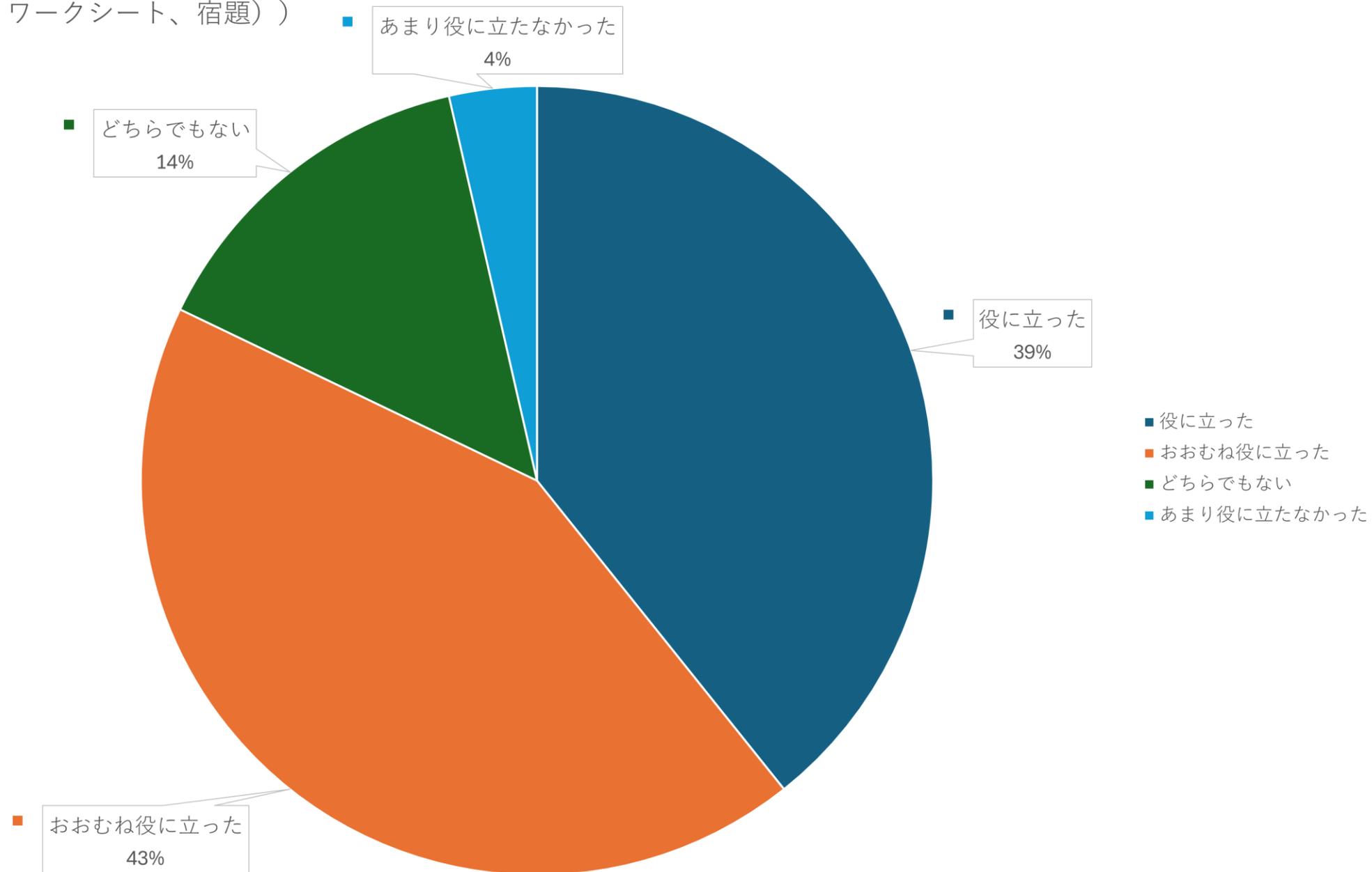


本イベントの満足度を教えてください。



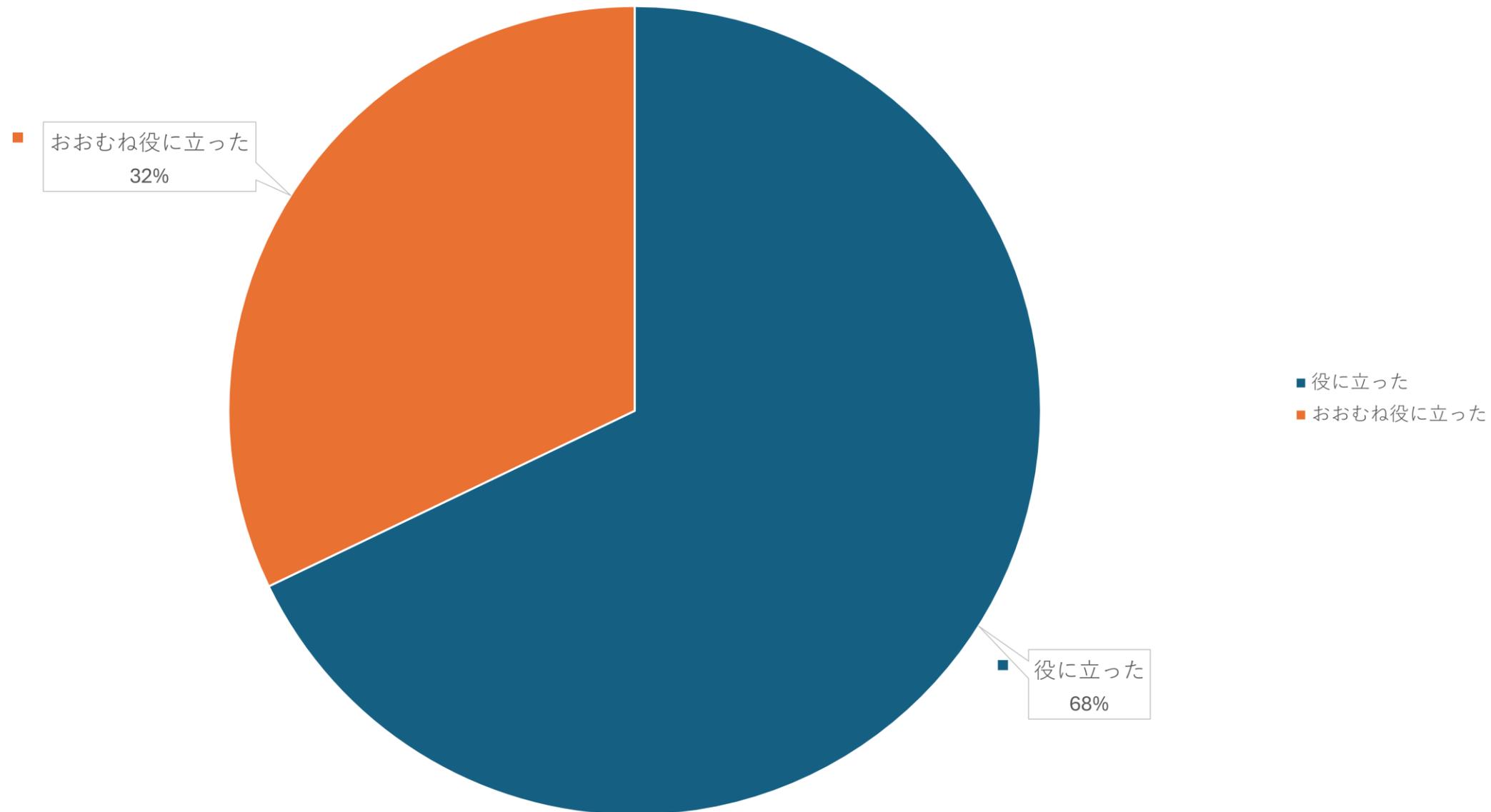
ワークショップで提供したコンテンツについて、それらの有用度を教えてください。

(配布資料 (ワークブック、ワークシート、宿題))



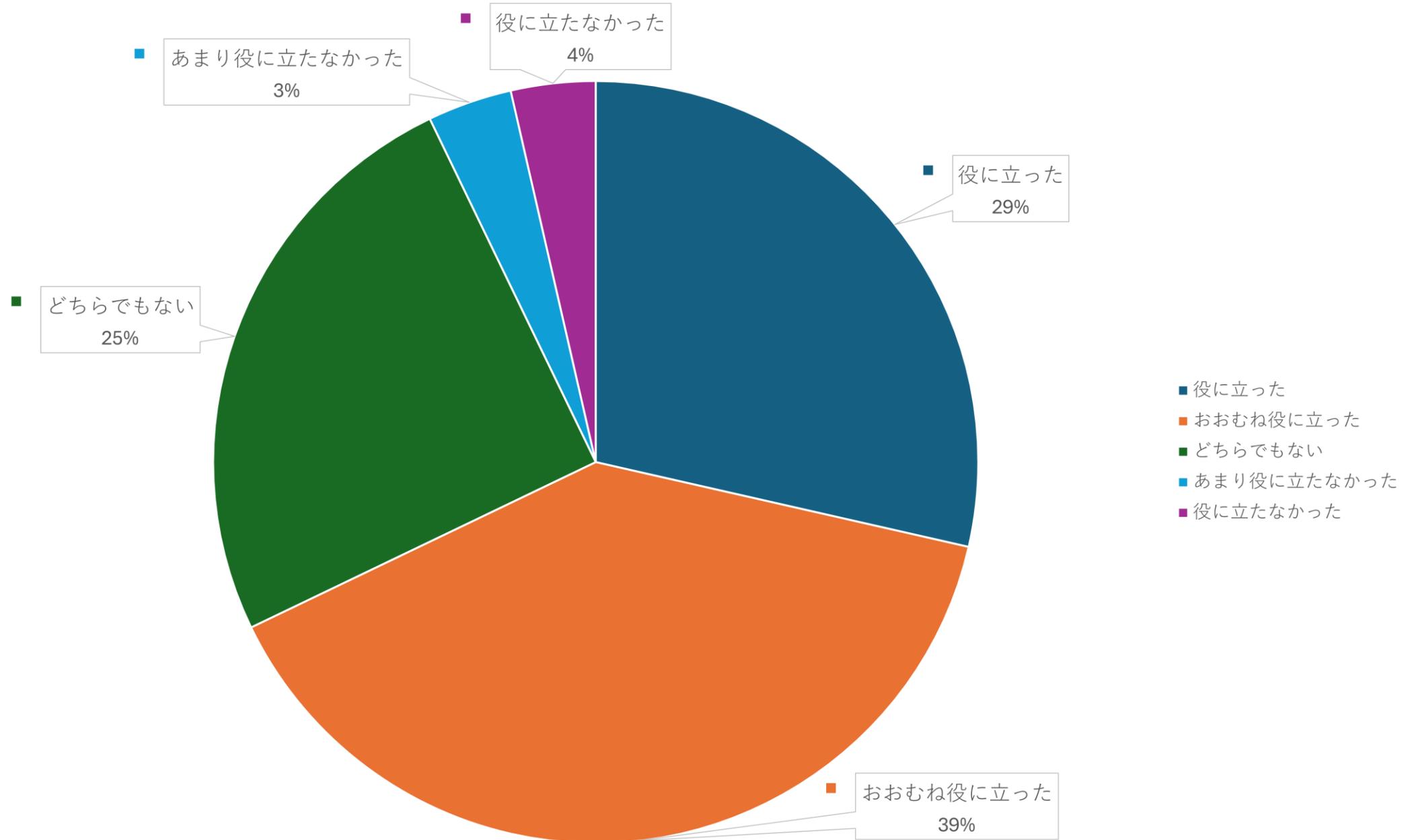
ワークショップで提供したコンテンツについて、それらの有用度を教えてください。

(ゲスト講師のトークパート)



ワークショップで提供したコンテンツについて、それらの有用度を教えてください。

(GitHubリポジトリ)



設問「印象に残ったコンテンツがありましたら、その内容と理由を教えてください。」への回答要約

- ◆ OSSガイドラインを作成する際に必要な観点が含まれており、参考になった。
- ◆ 自社ですでにガイドラインを作成している場合でも、学ぶものが多かった。
- ◆ 振り返りで使用した「航海のイラスト」はポイントを可視化しやすく、「オープンソースライセンス研究所のFAQ資料」はよくまとまっており社内共有に有効だと感じられた。
- ◆ 実際にOSPOに取り組んでいる実務担当者の「生の声」を聞いたことが貴重だった。
- ◆ ゲスト講師の話は立ち上げまでの苦労や成果に臨場感があり、非常に参考になり勇気づけられた。
- ◆ ライセンスクイズのコンテンツが印象に残った。
- ◆ ワークシートと宿題を活用し、段階的に自社の立ち位置や課題を検討できた点が良かった。

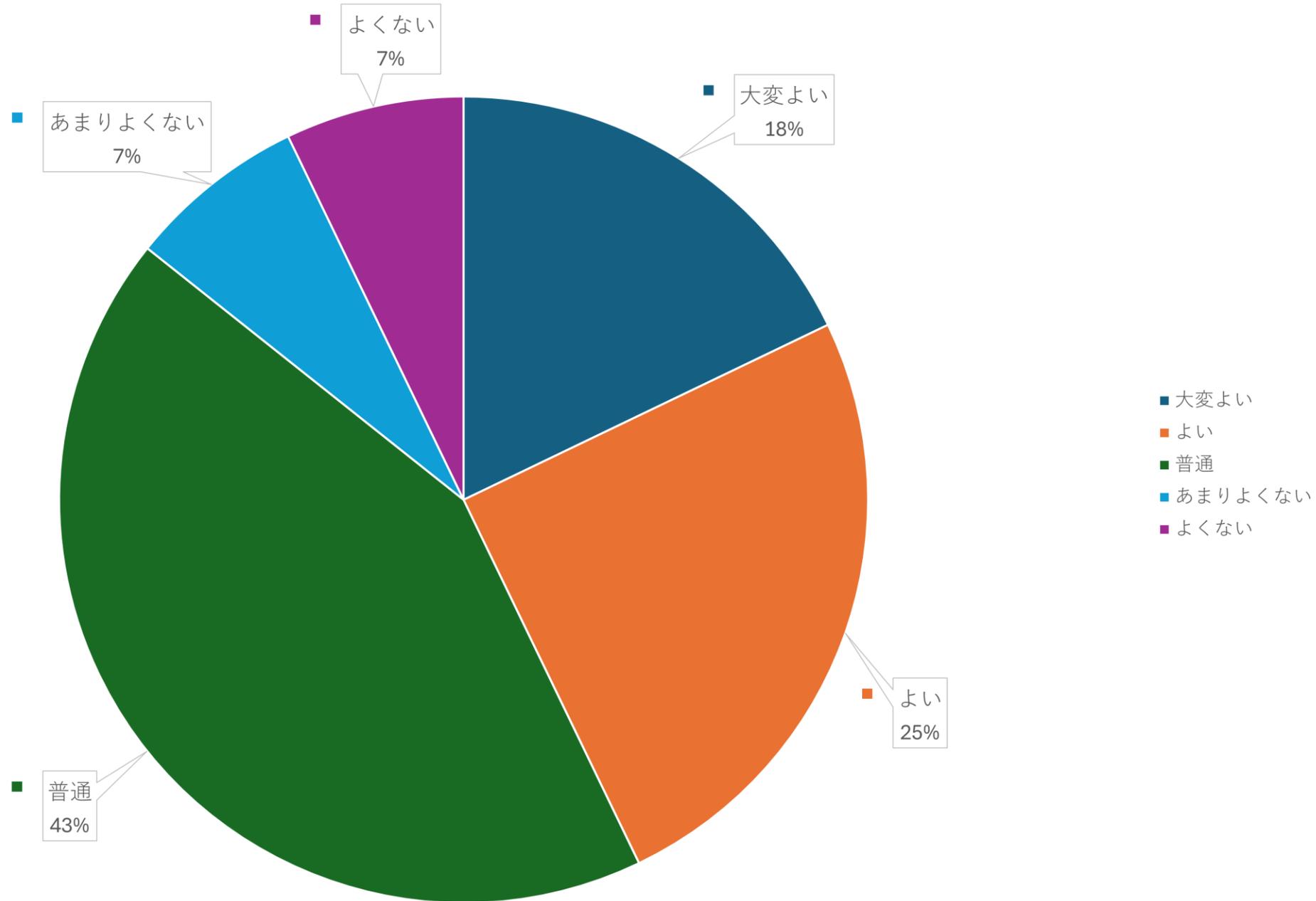
設問「終了後のフォローアップなど、今回のワークショップ参加者向けに希望するプログラムがありましたらお書きください。」への回答要約

- ◆ 参加メンバーによる継続的なコミュニティ（グループ、メーリングリスト、チャンネル等）の構築やミートアップの開催
- ◆ 他社とのディスカッション機会の拡充や、ワークショップ終了後もお互いの進捗を確認・共有できる場の提供
- ◆ ライセンスやセキュリティチェックなど、OSPO実務担当者を育成するための実践的な講習会
- ◆ ライセンス確認や脆弱性管理を効率化するための具体的な手法やツール事情の紹介
- ◆ OSSコミュニティへの「貢献（コントリビューション）」に焦点を当てた続編プログラム
- ◆ OSPOスターターキットの説明会やハンズオン
- ◆ 経営層の理解・支援を獲得するための、IPAからの書簡送付や説明会実施などの協力
- ◆ 社内説明の説得力を高めるための、第三者（IPAや他社）による協力体制や講師派遣、コンサルティング
- ◆ 各社の課題に対する相談会、成功・失敗事例の共有、運用アドバイスの場

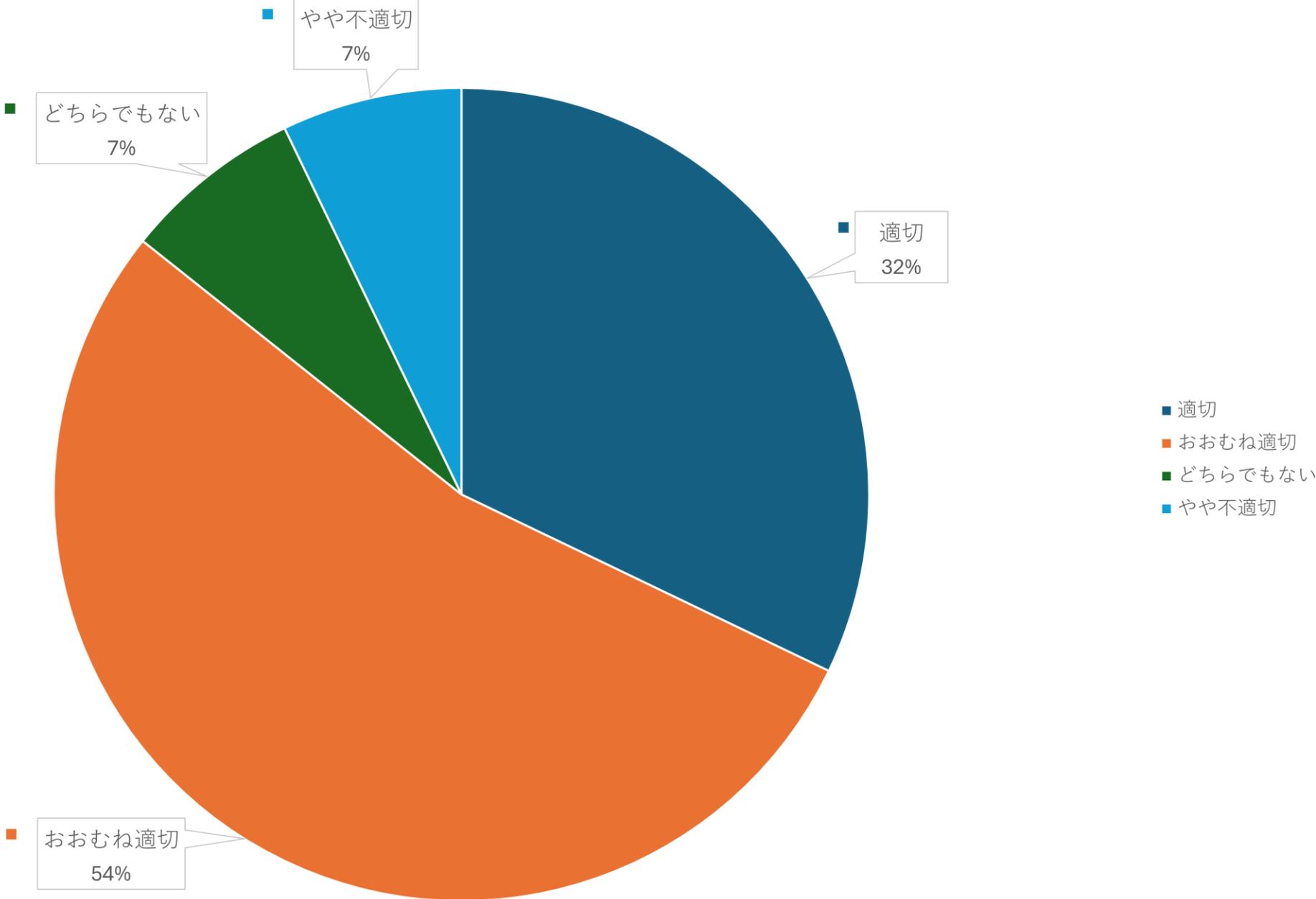
設問「本イベントの感想をご自由にお書きください。」への回答要約

- ◆ OSPOに関する知見がない状態からでも、実体験に基づいた話により理解が深まり、立ち上げやガイドライン作成に向けて大きく前進できた。
- ◆ 講師のトークやファシリテーションの満足度が高く、非常に有意義なトレーニングであった。
- ◆ IPAという信頼ある主催によるイベントであり、テーマも興味深かった。
- ◆ 他社との情報交換や人脈形成が非常に有意義であった。
- ◆ 自社のチーム内議論は社内でも可能なため、他社参加者とのディスカッション時間を増やしてほしい。
- ◆ 参加者同士の継続的なコミュニティ形成や、終了後もお互いの進捗を確認・共有できる場が欲しい。
- ◆ もっと交流を深めたかった。
- ◆ OSPOスターキットについて、社内配布用と担当者向けメッセージが混在しているため、そのまま社内利用できる形式にしてほしい。
- ◆ 各回の内容や最終的なゴール（着地点）が事前に不明確だったため、社内での議論が難しかった。
- ◆ 会場設備として電源の確保が厳しかった。
- ◆ OSPO設立の最大の障壁である「経営層の理解」を得るため、IPAや第三者からの書簡送付や説明会など、説得力を高めるための協力・支援が欲しい。
- ◆ コントリビューション（貢献）に焦点を当てた続編や、生成AIなど新しいテーマでのワークショップを開催してほしい。

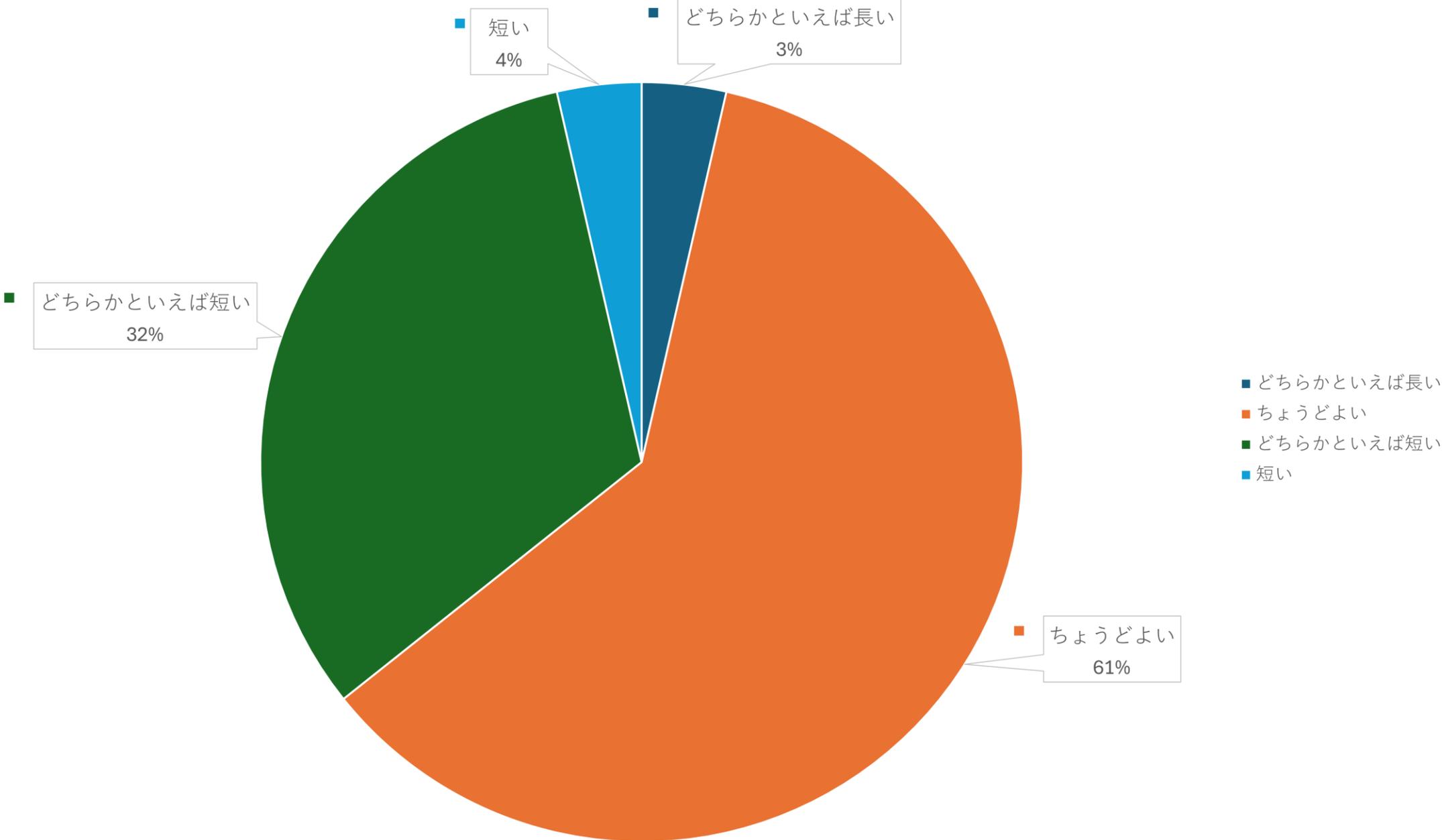
会場のアクセスはいかがでしたか？



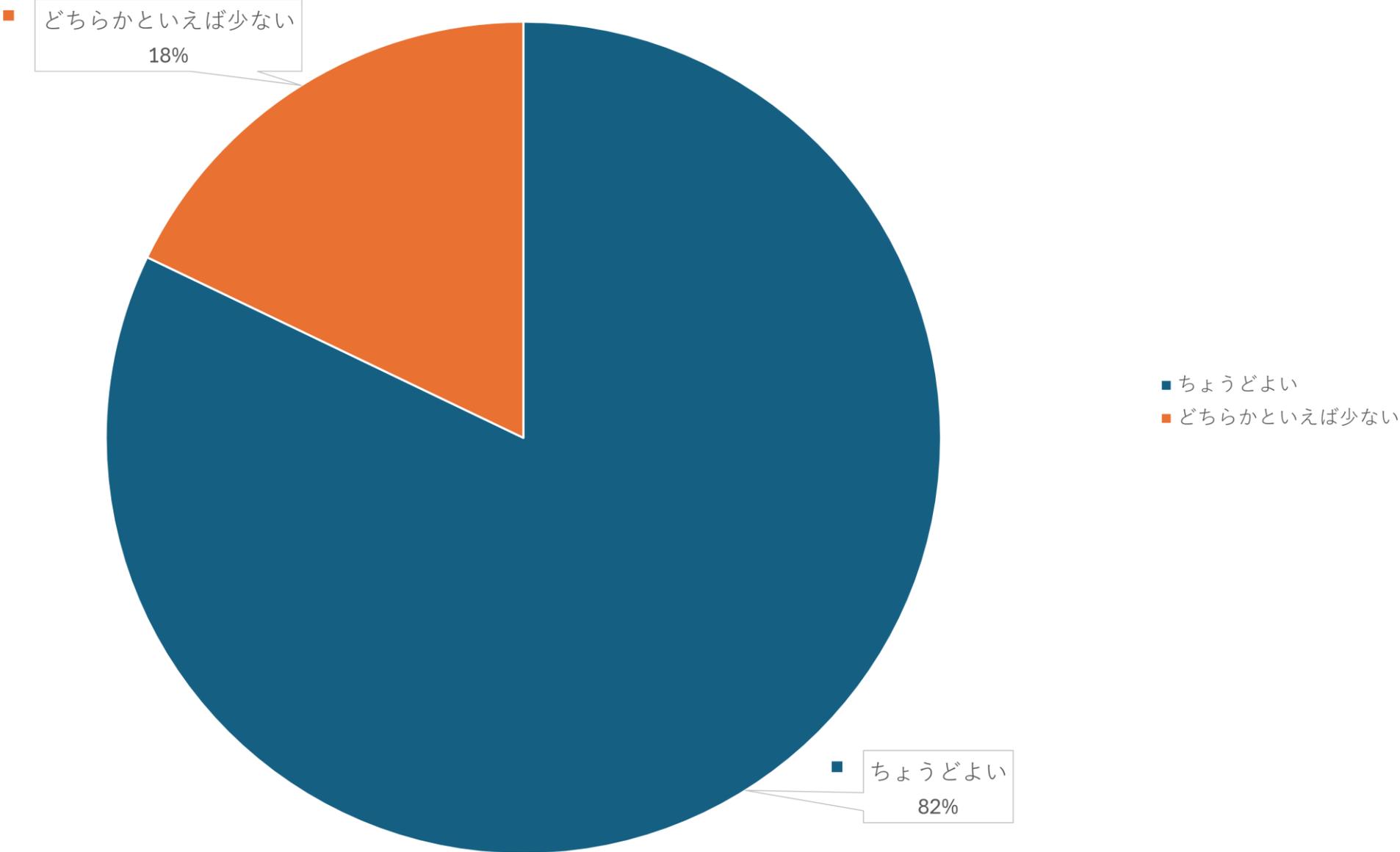
本イベントの開催日時は適切でしたか？



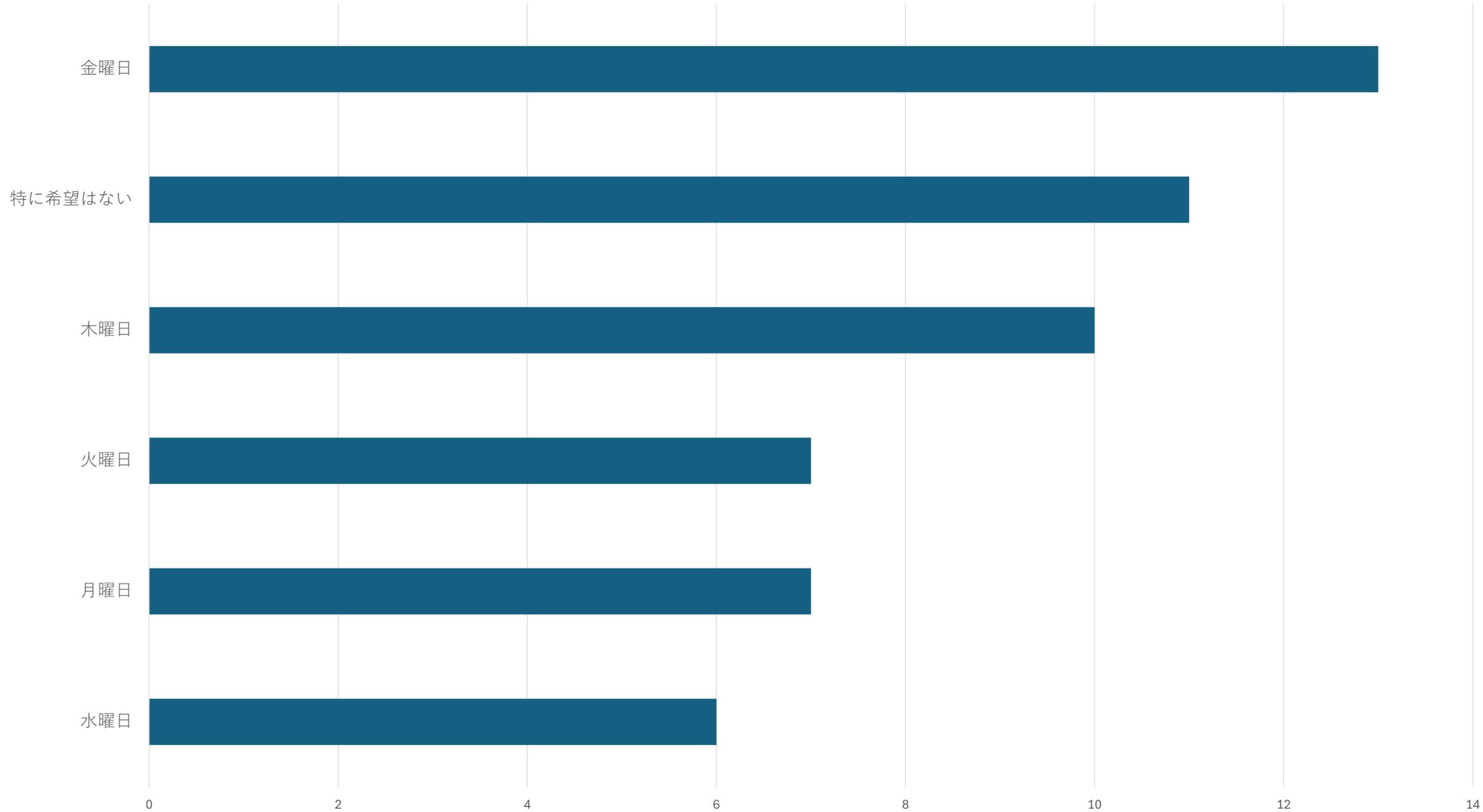
本イベントの1回あたりの所要時間の長さはいかがでしたか？



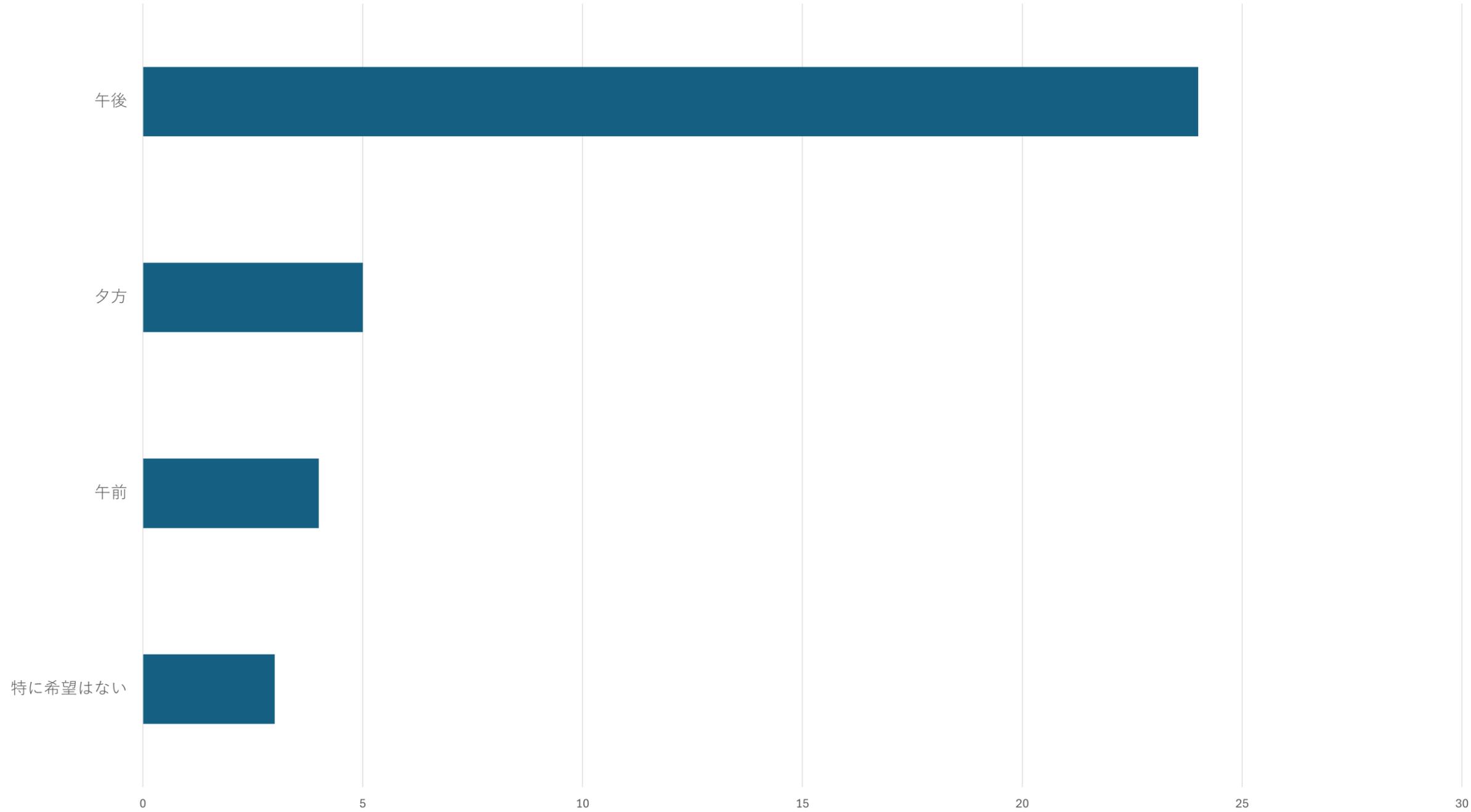
全体を通した回数（全3回）はいかがでしたか？



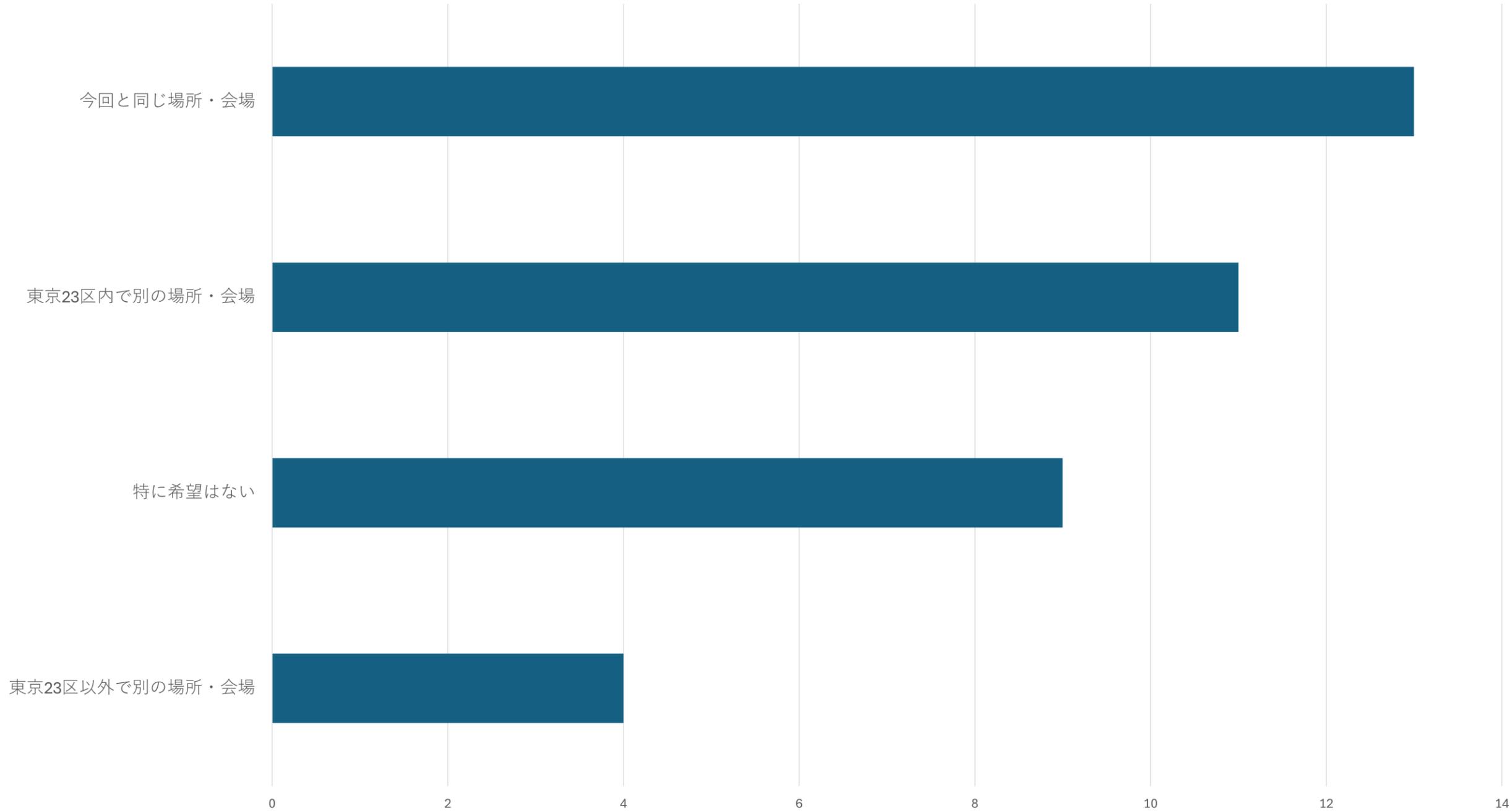
今後のイベントの開催曜日の希望はありますか？（複数選択）



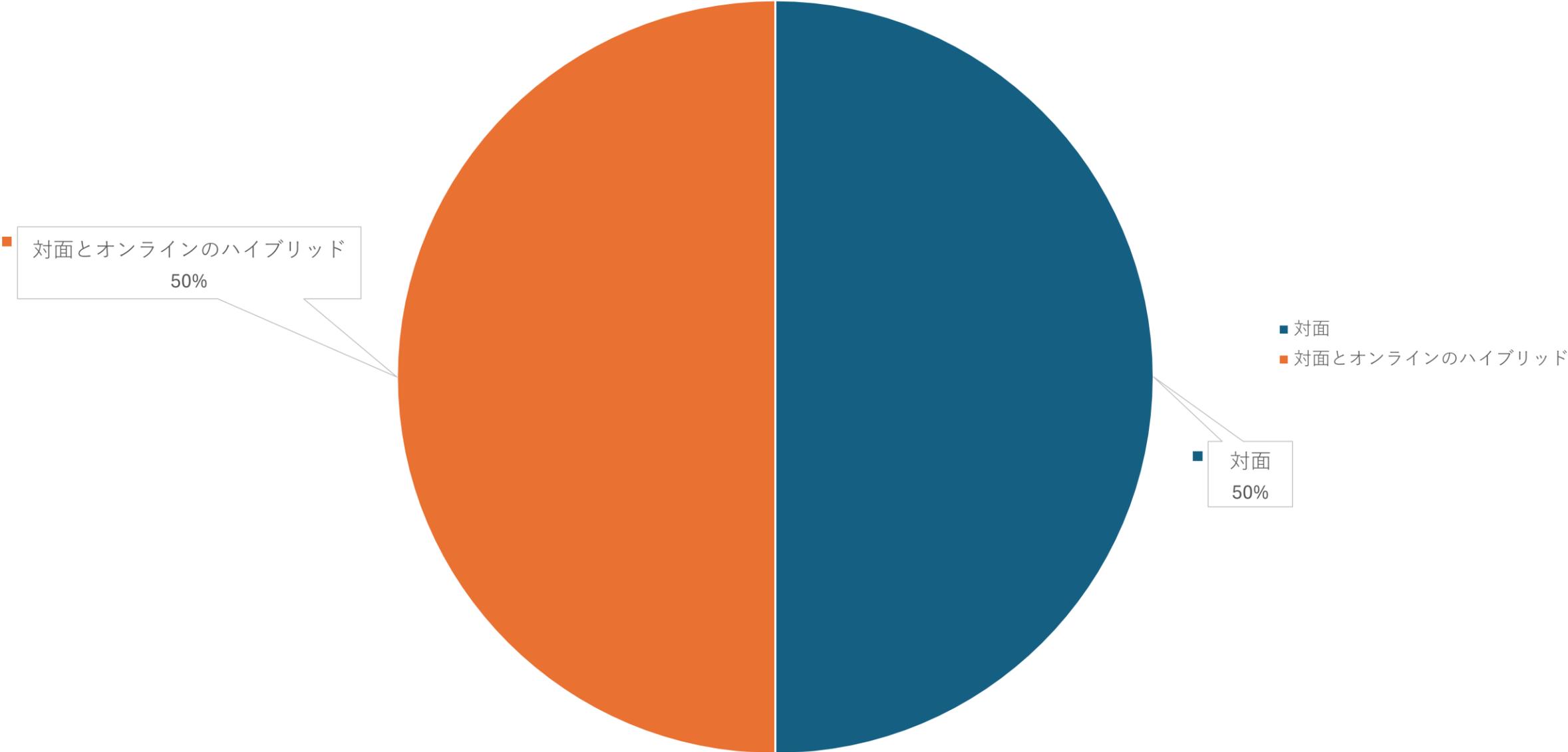
今後のイベントの開始時刻の希望はありますか？（複数選択）



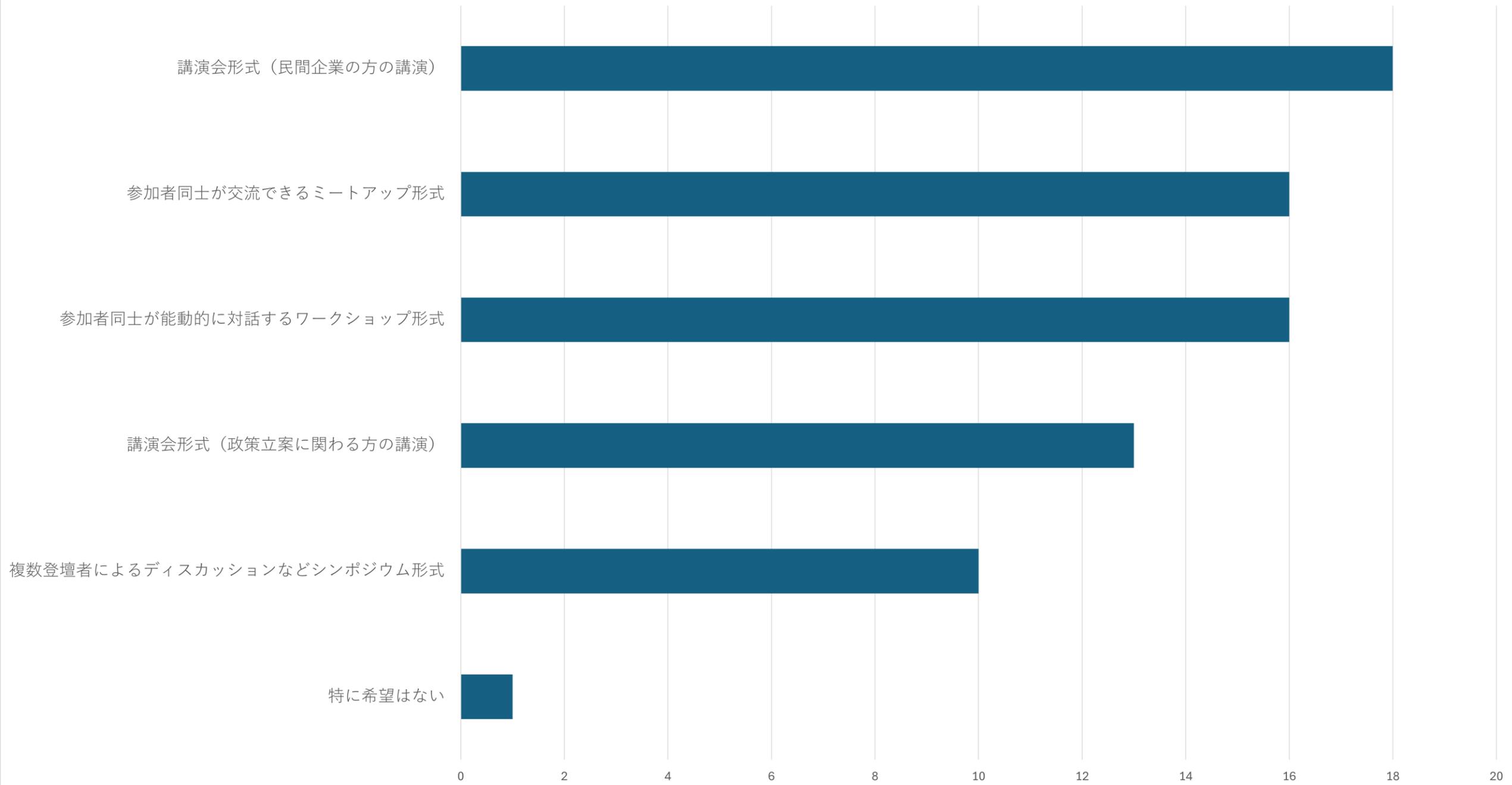
今後のイベントの開催場所・会場の希望はありますか？（複数選択）



今後のイベントの開催形態はどれが望ましいですか？



今後のイベントの形式の希望はありますか？（複数選択）



IPA